

混沌

政局

インタビュー

— 小泉元首相が郵政民

営化見直しをめぐる麻生首

相の発言を批判した。

「小泉氏には、麻生首相

を批判する2日前に会っ

て、最近の郵政をめぐる状

況を説明した。かんぽの宿

の売却問題をはじめ、一連

の郵政民営化つぶしの動き

が小泉氏を駆り立てた、と

竹中平蔵

元総務相



「郵政つぶし」が小泉氏触発

官僚OBが社長になってしまふ。その途

端『このままでは経営が成

り立たない』と言いだし、

4分社化は見直される。郵

政民営化は終わる」

— 売却問題は日本郵政の西川善文社長の責任問題に発展する可能性がある。

「明らかな『西川追放劇』だ。郵政は『伏魔殿』だ。

西川氏が辞めたら、民間から誰も経営者が見つから

ず、総務省の

ない」と国民の財布が痛む、

ということだ。鳩山氏には、

その場合は責任を取って

ね、と言いたい」

景気対策の評価は。

「欧米に比べ財政も金融政策も消極的だ。麻生政権は財務省に仕切られ、迅速

一括売却は白紙撤回な対応が出来なくなっている。（景気対策の）財源に

「かんぽの宿事業は年間40億円以上の赤字だ。国民

に見ていてほしいのは、もし売却が1年遅れたら、来年は140億円以上で売れ

初、小泉氏は無利子非課税

国債がいいと考え、出そうとした。ところが財務省は

NTTの株売却益を使った

仕組みを持ってきた。だから実現しなかった。多様な

国債があつていいと思う」

（聞き手 尾山宏）